



えっ!? こんなことってあり?

Aさん 85歳 男性 要介護3 癌末期

Aさんは 大学卒業後に商社マンとしてバリバリ働き 23歳の時に結婚し 2人の子どもに恵まれる。豊かな生活を送っていた反面、麻雀などの賭け事も好きで家計への影響もあった。それでも仕事を退職した後も 70歳までアドバイザーとして働いていた。

妻、息子に先立たれ 12年前に調布市に転居してきて一人暮らしとなる。年金だけで普通に暮らすには十分であったが、麻雀が好きで賭け事に年金を使い続けてしまった。健康面も持病があったがあまり病院へは行かず、身体機能の衰えから一人暮らしが 困難となり、看多機 ケアホーム希望を利用する時には 癌の末期状態であった。なんとか歩行もでき、外出も一人でできていた。



娘は 遠方のため、介護はできずこのまま一人暮らしを続けていくには 往診医や 訪問看護・介護のサービスを利用しながら、苦痛が 増強するようであれば 泊まりのサービスも利用し、最期まで自宅で過ごしたいと在宅療養生活を望み、平成4年6月よりサービスが開始となった。娘からは「遠方でもあり様々な事情から親の介護ができない折、助けていただき本当に感謝しています。何卒宜しくお願い致します」と手紙もいただいた。

Aさんが少しでも苦痛がないようにとケアをするため訪問回数が増すが、頻回に訪問しても 看護小規模多機能型居宅介護のサービスは利用料が定額のため、サービスの利用料が膨らむことはなかった。利用開始当初は一人で出かけ、麻雀をしに行くこともあったため、本人が使えるお金は娘が管理するようになり、本人の口座に少額ずつ振込み、必要なものがあれば自身で銀行へ降ろしに行く生活へと変えていった。その生活も持病の悪化や足腰の弱りから外出先で転倒することも度々あり、その度に私たちの事業所に連絡が入り迎えに行くなどの対応をしてきた。

昨年12月にはベッドから起き上がることも困難となり、ほぼ寝たきり状態になり、血痰や下血もみられ、食欲もなくなり配食弁当にはほとんど口にすることがなくなったので、介護職が訪問時に食べたい物や好きな物を買って行き、少しでも食べてもらえる工夫をした。日々衰弱していき、身体を動かすこともできなくなり、呼吸困難もみられたため在宅酸素も導入した。血尿や血便も毎日あり、その都度メールで娘にも状況を報告したが、その娘から「最期は行政書士に任せているので今後はその方に連絡を入れてほしい」との返事があった。

年末には大好きな麺類を食べ、年始には お寿司を買って行き 笑顔で食べていたが、年明けの早朝に訪問すると、身体が冷たく呼吸も停止しており、一人で旅立っていていた。苦しそうな表情はなく、とても穏やかな表情であった。最期は娘ではなく、行政書士によって埋葬された。

12月分の利用料が未納であったため、1月分の利用料の請求と併せて娘に連絡すると『相続放棄の手続きをしており、自分（娘）には支払い義務がないので申し訳ありませんがご理解ください』とのメールが届く…。その内容を見て私たちは 唖然とした。

父と娘の家族間に何があったのかは分からないが、娘から依頼があって Aさんの介護に関わるようになり、全力で最期の旅立ちの日まで毎日訪問し、出棺の日も行政書士と一緒に立ち会った。旅立って逝ったAさんの最期の姿に、職員たちは色々やれて良かったとの 声があっただけに、家族のこのような最後の対応に残念に思う。

今後の支払いに関する対応は、これから弁護士を交えて検討していくこととなるのか？

まあ～
いつもすごい
食事にビックリ！
美味しそうね



たのしい

ひなまつり



ひな祭り御膳

あかりを
つけましょ
ぼんぼりに～
お花をあげましょ
桃の花～♪



99歳の私も
まだまだ健やかな
成長と健康を祈って
元気に喜みますわ！

家族会



今回の家族会で…

- ・ 防災や防火の基本についての説明
- ・ 災害時の避難所確認
- ・ 避難訓練内容の説明
- ・ 災害発生時の対応やご家族への協力体制についてのお願い等を説明しました



事前には自動火災報知設備と
火災通報装置の点検・仕様確認実施



消火訓練



火事 だあ～

通報と
初期消火が大事



消防避難訓練

